

5年1組学級活動指導案

令和3年7月15日(木) 5校時
場 所：教室

1 本時のねらい

スマートフォンやインターネットを利用する上でのルール(使用時間について)の重要性を理解し、ルールを守って健康的に生活しようとする。

2 学習の流れ

段階	学 習 活 動	時間	○指導上の留意点 ◇評価
導 入	1 アンケート結果から、クラス内の ICT 利用状況や実態を知る。 2 本時のめあてをとらえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">インターネットなどを使う時間のルールについて考えよう。</div>	10 (分)	○ アンケート結果から、インターネットなどを使用する際の時間の約束について想起させ、これまで約束が守られてきているか各自振り返らせる。 ○ 数名の発表により、時間遵守への意識を高める。
展 開	3 動画を見る。 『時間の使いすぎ・ひろしの場合』 4 動画について考える。 (1) 問題点は何か。 ・ゲームのやりすぎ ・約束をやぶった ・友だちと遊ばない ・宿題をしていない ・お母さんの言うことを聞かない (2) 改善するためにはどうすればよいか。 5 グループで改善策についてまとめる。 ・時間のルールを決める ・家の人との約束を守る ・ひとりでは使わない 6 グループの発表を聞く。	5 10 10	○ 動画に出演しているの男の子の問題は何かを考えながら、視聴させる。 ○ これまでの自分の行動と照らし合わせながら、問題点を記述させる。 ○ 今後の生活の改善点を一人ずつ付箋に書き、グループでの話し合いに活用させる。 ○ 各自が考えた改善策をもとに、グループごとに話し合わせ、より良い改善策についてまとめさせる。 ○ グループの発表から、一人一人の今後の生活に生かすことができるよう、助言する。
終 末	7 本時のまとめをする。 8 本時の学習の振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◇ インターネットなどの使用時間について、ルールの重要性を知り、実践しようとしている。</div>	10	○ グループの発表をまとめ、インターネットなどを使うときのルールの重要性について気付かせる。 ◇ インターネットなどの使用時間について、ルールの重要性を知り、実践しようとしている。

3 準備物等(教師)

- ・『ベネッセこども基金』パワーポイント内動画
- ・パソコン ・モニター ・児童アンケート結果 ・ワークシート ・付箋

名前 ()

め

1 動画内のひろしくんの行動の問題点は何かな？



2 ひろしくんの生活を改善かいぜんするにはどうすればいいかな？
(1まいのふせんに1つのアドバイスを書こう)

(ふせん)

3 今日の学習のふり返し



第6学年2組 学級活動指導案

令和3年11月30日（火）5校時

場所：教室

授業テーマ

アンケート結果から自分の生活をふり返り、友達のアドバイスや親の考えに触れることを通して、インターネットやゲームとのよりよいかかわり方について考えることのできる授業

1 題材名 『インターネットやゲームとのよりよいかかわり方』

1 題材について

(略)

本学級では、インターネットやゲームとのかかわりに関する児童の実態を把握するために、事前アンケートを実施した。本時では、初めにアンケートの内容を学級で集計した結果を提示し、使用時間や家庭でのきまり、予想される危険性と対策などについて、自分と友達の実態を比較する場を設ける。その中で、アンケートの記載内容や教師が提示した客観的データを基に、友達とアドバイスを伝え合うよう促すことにより、これまでの生活をふり返りながら自分の課題について考えさせていく。さらに、各自の保護者が記載した「児童のインターネットやゲームとのかかわり方について、改善を望むこと」を知らせることで、児童が、保護者の考えを取り入れながら、インターネットやゲームとのよりよいかかわり方についての考えを深め、今後の家庭でのきまりづくりや見直しへのきっかけにしたい。また、本題材について学習するにあたり、インターネットやゲームに関する家庭でのきまりを考えさせるだけでは、児童の考えを深め、家庭での実践につなげるのが難しい。そこで後半では、それぞれが考えた改善点について交流する中で、「わかっているんだけど実行するのが難しい」という児童の思いを引き出し、よりよいかかわり方ができるようにするための工夫について話し合う場を設けていく。その中で、事前アンケートに記載された友達の考えにも触れさせることで、児童が新たな気づきをしながら、よりよいかかわり方についての考えを深めることができるようにしたい。さらに事後では、本時の中で児童が記入したワークシートを保護者に配付することにより、家庭でのきまりづくりや見直しについて親子で話し合い、よりよいかかわり方につなげていくことができるようにする。

3 本時のねらい

インターネットやゲームとのかかわり方に関する友達の実態や親の考えを知り、互いの考えを交流することを通して、よりよいかかわり方についての考えを深め、実践につなげていこうとする思いを高めることができる。

4 テーマに迫るための手立て

(1) 事前アンケートや客観的データの活用

- インターネットやゲームとのかかわり方に関する児童の実態や、保護者への事前アンケートの結果、インターネットやゲーム使用に関する客観的データを提示することにより、よりよいかかわり方についての児童の新たな気づきを促し、自他の課題をとらえることができるようにする。

(2) 互いの考えを交流する場の設定

- 事前アンケートの結果を基に、自他の実態に関する改善点について、互いの気づきや考えを交流する場を設けてアドバイスを促すことにより、よりよいかかわり方についての考えを深めることができるようにする。
- 授業の後半においては、インターネットやゲームとのよりよいかかわり方について、「わかっているんだけど実行するのが難しい」という児童の思いを引き出し、家庭での実践につなげるための具体的な工夫について考えさせる。このことにより、家庭でのきまりづくりや見直しに自らかかわり、主体的によりよいかかわり方を実践していこうとする思いを高めることができるようにしたい。

5 学習過程

学習活動・内容	時間	◎手立て ○指導上の留意点 ※評価
1 本時のめあてをとらえる。 インターネットやゲームとのよりよいかかわり方について考えよう。	3分	○ 先に実施した事前アンケートを想起させることにより、短時間で本時のめあてをとらえることができるようにする。
2 事前アンケートの結果から自他の実態を知り、課題を考える。 (1) 自他の実態を知り、自分の課題について考える。 (2) 保護者の考えを知り、友達と相談しながら改善点を考える。	25	◎ 事前アンケート結果や客観的データを提示し、視点を絞って自分の記述と比較させることで、インターネットやゲームとのかかわり方について、自分の課題をとらえることができるようにする。 ◎ 保護者が考える児童の課題を配付するとともに、友達と話し合う場を設けることにより、家族や友達の考えから新たな気づきを生みながら、考えを深めることができるようにする。 ○ 交流によって見いだした自分の課題や改善点をワークシートに記入させることで、家族とのきまりづくりや生活の見直しに生かしていくことができるようにしたい。
3 改善点を実践するための工夫について話し合う。	12	◎ 児童の「わかっているんだけど実行するのが難しい」という思いを引き出した後に、実践するための工夫について話合いの場を設ける。その際、事前アンケートの児童の記述を紹介しながら、具体的な工夫について考えさせ、家庭での実践につなげていきたい。 ※ インターネットやゲームとのよりよいかかわり方についての考えを深め、実践につなげていこうとしているか。
4 本時をふり返し、まとめをする。	5	○ 本時の感想を話し合う場を設け、家族とのきまりづくりや生活の見直しについて促すことにより、本時の学習を生かしてインターネットやゲームとよりよいかかわり方をしていこうという思いを高めたい。